



那須塩原・リンツ

オーストリアの「お茶」はハーブティー



オーストリアで最も人気がある温かい飲み物はコーヒーですが、今回は、長い歴史がある「ハーブティー」を紹介します。

ドイツ語では、お茶やハーブティーなどを「Tee/ター」と言います。オーストリア人が飲む「ター」の80%はハーブティーとフルーツティーです。ハーブティーは、美味しいだけではなく、体にも良い飲み物です。ハーブは古代ギリシアの時代から、薬として使われています。オーストリアの伝統薬として使われていました。しかし、ハーブが薬として認められていなかった時には、ハーブ薬を出していた人が魔女だと言われていました。ハーブの薬が広く認められたのは、修道院が薬として使い始めてからです。

修道院がハーブの庭をつくり、ヒルデガルト・フォン・ビンゲンなどの修道女がハーブの知識を集めて薬として使いました。現在でもハーブは薬として使われています。ハーブ薬は、お医者さんと相談してお薬屋さんで買いますが、少しでも体調がすぐれない場合には、ハーブの家庭薬を使って様子を見る人が多いです。

例えば、咳がでた時は、タイムのハーブティーを飲んで様子を見ます。そして、風邪予防として特に寒い時期には、ハーブティーを飲んで予防します。



クラシックな種類は、カモミール、スパーマント、フェンネルです。いくつかのハーブをミックスしたティーもあります。最近では、魅力的な名前のおいしいティーの種類が増えています。オーストリアのスーパーに行くと、ハーブティーの種類が多く、健康的でおいしいお土産として使えます。

日本で売っているオーストリアのハーブティーは、ゾネントア社のハーブティーが有名です。

ドイツ語コーナー：ドイツ語の文字

印刷用書体	A B C a b c	schön
手書き書体 (1969年)	A B C a b c	schön
手書き書体 (1995年)	A B C a b c	schön
フラクトゥーア	A B C a b c	schön
手書き書体 (~1941年)	A B C a b c	schön

ドイツ語は、英語と同じアルファベットを使って書きますが、その発音はローマ字に近いです。また、ドイツ語の特有の文字があります。ウムラウト（変音）と言う文字は、Ä(ä)、Ö(ö)とÜ(ü)があります。母音の上の“は、その母音の発音が変わる記号です。A「ア」の発音はÄ「エ」に変わります。Öの発音は、唇を「オ」の形にしたまま「エ」と発音します。Üは唇を「ウ」にしたまま「イ」と発音します。ドイツ語のキーボードがない時には、ウムラウトの代わりにAE、OEとUEを使います。他には強い「ス」と発音するエ

スツェット「ß」という記号もあります。スイスなどでは「ß」の文字を使わず、「ss」と書きます。オーストリアの小学生は、ドイツ語のアルファベットの大文字と小文字以外に、筆記体も学びます。2年生が終わるころにはドイツ語の全ての文字を書けるので、後は言葉のスペリングなどを集中して勉強します。ちなみに、1941年ごろまではフラクトゥーアと言う書体が一般的に使われていました。フラクトゥーアの筆記体(Kurrentschrift)は現在の文字と少し違うため、100年前の手紙は読みにくいです。

那須塩原・リンツ

あの人： 和田祐子 さん



プロフィール

名字：和田

名前：祐子

出身：東京

住所：那須塩原市

職業：日本舞踊協会
会員、花柳流師範、グ
ローバルカルチャー
那須 和文化コーデ
ィネーター

モットー：真の異文化
交流こそ世界平和へ
の近道

“文化交流を通じ、日本文化に興味を持っている人が、想像以上に多くいらっしゃることを肌で感じました”

今までに行った・参加した交流活動：

2018年6月に総勢27名でリンツ市を訪問した際には、シュタイレッグ城とリンツ市庁舎大ホールで舞踊劇「平家物語 那須与一の段」の公演、アウホフ校でのワークショップで市民レベルの交流をすることが出来ました。

このような体験ができたことは、全て津也子グーテンブルナー一家とボランティアの方々、日本から自費で参加してくださった出演者の御理解と御協力の賜物だと思っています。シュタイレッグ城では度重なる打合せの結果、素晴らしい舞台とホール満杯の観客の前で公演ができ、大感激しました。

公演後に開催されたパーティーでは、ウィーンからの日本大使夫妻、喫日協会長など、沢山の方と文化交流を体験することができました。

また、リンツ市庁舎大ホールでは、リンツ市民に姉妹都市である那須塩原市を紹介することができ、スタンディングオベーションで幕を閉じました。とても貴重な体験ができたと思います。



シュタイレッグ城での「平家物語那須与一の段」の公演の様子

その中で最も感動した経験：

2019年は、日本とオーストリアの国交150周年という記念すべき年でした。私は、同年2月に日本・オーストリア150年事業の打ち合わせのため、リンツ市、ウィーン市を訪問しました。10月には、ニクラス・サルム伯爵、ディーックマン氏、ブランドル紀子氏にサポートをしていただき、7名でブルックナー大学、アウホフ校、ウィーン大学で日本舞踊のデモンストレーションやワークショップ、茶道体験などを通じて、継続した市民レベルの文化交流を深めることが出来ました。

これらの文化交流を通じ、日本文化に興味を持っている人が、想像以上に多くいらっしゃることを肌で感じ、とても感激しました。



ブルックナー大学でのワークショップの様子

今後行ってみたいこと・アイデア・意見：

2019年には、那須塩原市でオーストリア・フェスタが10月6日（日曜日）に開催されましたが、今後もコンパクトでよいので、年1回、青木別邸でオーストリア・フェスタを続けることが出来るとよいと思っています。那須塩原の皆様へ海外姉妹都市「リンツ市」の魅力を伝えていくことで、有意義な姉妹都市間の交流が広がり、継続するのではと期待しています。

那須塩原・リンツ

リンツ市情報：リンツの民族衣装



リンツ市の
ディルンドル

オーストリアの民族衣装は、女性のドレス「ディルンドル」と男性の革のズボン「レーダーホーゼ」が有名です。約500年の歴史があるブレーゲンツァーヴルト（Bregenzwald）の民族衣装のように、昔からの伝統服はいくつかありますが、ほとんどのディルンドルは最近できたものです。伝統がある民族衣装は、切り方、装飾、使う素材、色や柄などそれぞれに特徴があります。

19世紀の初めに都会の人が「田舎のファッション」を好むようになってから、ブラウス・ドレス・エプロンを組み合わせた民族衣装が一般的になりました。

「ディルンドル」には、とても歴史があり、地域ごとに色などの特徴があります。リンツ市のディルンドルは、ドレスの上の部分は黒い絹、スカートの部分は紅樺色のウール、エプロンは緑の絹となっております。現在は、色を自由に組み合わせたディルンドルやミニ丈のディルンドルが人気です。

文化コーナー：赤ちゃんとコウノトリ



オーストリアでは、コウノトリが赤ちゃんを運んでくると言われています。そのため、赤ちゃんが生まれたばかりの家族のお友達が木製のコウノトリを家の前に飾る習慣があります。

赤ちゃんの誕生を知らせるために、手紙やカードを送ります。そこには、赤ちゃんの写真、名前、生年月日、身長、体重などを書いて、親戚、友達やお世話になった人に送ります。

親戚や代母や代父（親が親戚や友達の中から選んだ、赤ちゃんの宗教的な教育などの支援をする人）がお母さんと赤ちゃんを訪問します。その時に、赤ちゃんに使える便利なプレゼントを持ってきます。最近流行っているプレゼントは「Windeltorte/ウインデルトルテ」（オムツのケーキ）ですが、それはたくさんの布のオムツを巻いて、ケーキの形にしたものです。

キリスト教の信仰が多いオーストリアでは、赤ちゃんに関連する習慣は、洗礼式があります。洗礼式は、キリスト教の教派によって違いはありますが、赤ちゃんが教会のメンバーになり、親と代母や代父が、赤ちゃんにキリスト教的価値観を教え育てることを誓います。まず、牧師が清水を赤ちゃんの頭に注ぎ、身体を清めます。その時赤ちゃんは、純粋を表す白いドレスを着て、洗礼のロウソクに火を灯します。そのロウソクは、赤ちゃんが今後、結婚式などの大切な時にもまた使用します。

代母や代父が、手紙や十字架が付いたネックレスや金のコインなどのプレゼントを準備します。金のコインは、思い出だけでなく、大人になった時の「へそくり」としても使われています。

答えは4ページ

ABC

Q:

ドイツ語のアルファベットはいくつの文字がありますか。

A: 28

B: 26

C: 30

D: 24

那須塩原・リンツ

作ってみましょう！ ☆ 母の日のプレゼント

オーストリアでは、母の日にお花を渡すことが多いです。
 今年はお花の代わりに、「ウィナー・ローズ」を描いたハガキと小物
 はいかがでしょうか。「ウィナー・ローズ」は、オーストリアで有名な
 アウガーテン磁器製陶所のデザインです。ヨーロッパの農家アートの
 作品でも、似た形のバラのモチーフが良く見られます。

☆作成する時に必要なもの☆

アクリルの絵具（白、赤、緑）、筆、水、ハガキや木材の箱

右の図の手順を見て、バラを書いてみましょう。

初めての方は、ちょっと練習してからにしましょう！

手順



地方
ニュース

クライミングが盛んなチロル州



チロル州アルツェル町
©TVB Pitztal/Ritschel
Bernd

日本で有名なチロルチョコですが、なぜ「チロル」を選んだのかご存知で
 すか。チロルチョコの社長がオーストリアのチロル州の風景が好きだった
 からだそうです。チロル州はオーストリアの西南に位置していて、「北チロ
 ル」と「東チロル」に分かれています。「南チロル」もありますが、イタリ
 アの領土です。1918年まではオーストリアの領土であり、今でも60%以上
 の住民の母国語はドイツ語です。チロル州は山国であり、3000mを超える
 山頂が573点もあります。スキーが盛んで、サンクト・アントンなどの有
 名なスキーリゾートがあります。夏にはハイキングやクライミングなどの
 スポーツが楽しめます。インスブルック市でW杯などの国際的なクライミ
 ングの大会が行われたことがあり、クライミング業界で人気がある地域で
 す。プロの選手などが厳選した5つのクライミング・コースの「5 Great
 Lines」が特に印象的です。プロではなくても、ボルダリングや家族に向け
 た「クライミング・ガーデン」などが楽しめます。



州：チロル州 (Tirol) ♥ 州都：インスブルック市 (Innsbruck) ♥
 人口：約 757,852 人 ♥ 面積：約 12,648km² ♥

発行：那須塩原市役所企画部秘書課都市交流係（担当：フロレンティーネ・ロンニガー）

事務局：〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108-2

TEL: 0287-62-7324 FAX: 0287-63-1240

Eメール：f.ronniger@city.nasushiobara.lg.jp



www.city.nasushiobara.lg.jp/03/3740.html

（バックナンバー・ドイツ語・英語編）

検索 那須塩原市姉妹都市ニュースレター



ドイツ語の答えはBとC。
 英語と同じ26文字以外
 にはa, o, u と R があ
 りますが、それは自立
 した文字と思わない人
 が多いです。